令和七年度 本検査 学力検査 国語 正解表

問題番号	正解	配点及び注意	計
一 (1)	ウ		6
(2)	エ		
(3)	エ		
二 (1)	きぬ		8
(2)	あわ		
(3)	せいじゃく		
(4)	とうほん		
三 (1)	困		8
(2)	授		
(3)	航路		
(4)	初志		
四 (1)	ウ		23
(2)	I イ II オ	(2)は完答とする。	
(3)	ア		
(4)	ア		
(5)	ウ		4
(6) (a)	ア		3
(b)	少しだけ頭をゆるめて感じるようにすることで、わたしだけの「!」をアートの表現の中に見いだす	同趣旨ならば正解とする。部分点を与えてもよい。	4
五 (1)	③		23
(2)	ア ウ		3
(3)			
(4)	エ		4
(5)	I イ II エ	(5)は完答とする。	
(6)	イ		3
(7)	自分たちの感性を大切にして指導してくれる遠田を、とても信頼している	同趣旨ならば正解とする。部分点を与えてもよい。	4
六 (1)	イ		20
(2)	ゆえに		2
(3)	ウ		3
(4)	ア		3
(5) (a)	イ		3
(b)	エ		
(c)	犯人の侍を許さないで、捕まえていたら	同趣旨ならば正解とする。	3
七	解答例A 私はAを選ぶ。これはキツネの負け惜しみで、ぶどうが欲しくてたまらないのに、取れなかった悔しさを紛らわす気持ちだと思う。 私は部活動の三年生最後の県大会で、わずかの差で優勝を逃した。その悔しさを紛らわすため、「油断せず本気でやれば勝てた。」と自分に言い聞かせた。本当は悲しくて落ち込んだ自分を精一杯守ろうとしたのだ。この文章から、負け惜しみには、滑稽(けい)さに加え、心の調和を保つ効果も読み取れる。 解答例B 私はBだと思う。なぜなら、キツネはぶどうを取れず、食べられなかった残念な気持ちが強くて、あきらめきれずにいるからだ。 以前、私は楽しみだった家族旅行が、天候悪化のため中止となったときに、行けないことへの不満を持ち続けた。だが、今考えると、家族の安全を最優先した親の正しい判断だったと思う。そこで、この文章から読み取れることは、残念だった気持ちを抱えたままにせず、前向きに一歩進む大切さだ。 解答例C キツネは、何の工夫もせずにあきらめるのが残念で、目の前のチャンスを逃したくない気持ちだったと思うので、私はCを選ぶ。 中学二年生の時、全国弁論大会への参加を先生から勧(すす)められた。自信がなかった私は、準備不足を理由に自分自身を納得させて辞退しようとした。しかし、再度、自分の本当の気持ちを考えて、やるだけやって結果を受け入れる選択をした。同様に、挑戦することの大切さが、この文章から読み取れる。	以下の観点を参考に、採点基準の細部については各学校で定める。 ○内容 ○行数・段落構成 ○表現・表記 ※全ての条件を満たしていない場合でも、部分点を与えてもよい。	12
合計			100